

凸版印刷 印刷博物館 P&P ギャラリーで 「知ってるようで知らない！本のいろいろ」展 開催

凸版印刷株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:磨 秀晴、以下 凸版印刷)が運営する、印刷博物館 P&P ギャラリーでは、7月30日(土)より「知ってるようで知らない！本のいろいろ」展を開催します。

私たちにとって身近な印刷物である「本」。その構造やつくり方には実に多くのバリエーションがあります。本展では、本の基本的な構造や各所の呼び名、制作手順など、ベーシックな本の紹介から、見たこともないようなユニークな本も紹介します。夏休みの自由研究テーマとして活用いただけるほか、本に興味があるどんな方でも、より深く本について知っていただける展示です。



【展示内容】

1. 基本編一本のかたち
本の各部の名称や、今と昔の本のちがいについて紹介します
2. 基本編一本のつくり方
印刷・折り・丁合・綴じ・断裁まで、本をつくる過程を紹介します
3. 基本編一代表的な製本
上製本や並製本の代表的な製本について、製本見本でその構造をひもときます
4. 見たことない！こんな本
様々な大きさの本や面白い製本を紹介します
5. 豆知識
本に関する豆知識を紹介します

【開催概要】

会期：2022年7月30日(土)～9月25日(日)

会場：印刷博物館 P&P ギャラリー 入場無料

開館時間：10:00～18:00

※7月のみ、入場はオンラインによる事前予約(日時指定券)制

休館日：毎週月曜日(9月19日は開館)、9月20日(火)

住所：東京都文京区水道1丁目3番3号トッパン小石川本社ビル

電話：03-5840-2300(代表)

WEB：<https://www.printing-museum.org/collection/exhibition/g20220730.php>

主催：凸版印刷株式会社 印刷博物館

企画協力：図書印刷株式会社

協力：東京書籍株式会社、株式会社フレーベル館

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための措置として、入場時は手指消毒と検温、マスク着用をお願いいたします。

※ 感染拡大防止のために中止もしくは延期となる可能性があります。なお、開館する場合でも入場制限の措置を講じることがあります。

*印刷博物館は凸版印刷株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:麿 秀晴)が創立100周年を記念し、2000年に設立した公共文化施設です。

<画像/キャプション>

1. 超大きい本『巨人用 進撃の巨人』



2. 超小さい本 マイクロブック『四季の草花』



以上